

委員長 氏名: 大谷 翼

Ver.11

委員会 ビジナリー委員会

①TRY・4・VISION“若者と地域のつながり”事業の企画・実施

(現状と課題)

一般社団法人飯塚青年会議所(以下、飯塚 JC)は、2023 年度に地域のステークホルダーと共にまちの 5 ヵ年ビジョンとして TRY・4・VISION を策定しました。2024 年度には「地域で子どもを育てスマイリーあふれるまち」をステークホルダーの方々と手を取り合い、一過性の事業ではなく、地域の方から共感を得た事業を展開してきました。2025 年度も同様にステークホルダーの方々と共に“若者と地域のつながり”を深める事業を展開していきます。

現在、多くの若者がいるにも関わらず、卒業してこのまちに残る若者が少ないという現状があります。その原因の一つとして考えられるのが、地域と関わるきっかけが少ないこと、地域の「人」「企業」「文化」など様々な魅力に触れ合えていないことと考えます。“若者と地域のつながり”をテーマに、こうした「まち」の課題を解決するために、行政、民間企業、若者、ステークホルダーの方々と共に手を取り合い、またアカデミーメンバーのフレッシュな意見も取り入れ、みんなでワクワクする事業を構築していきます。

(目的)

TRY・4・VISION の一つ“若者と地域のつながり”の実動

対内:

■“若者と地域のつながり”というビジョンを地域の方々と共有することを目的とします。

対外:

■“若者と地域のつながり”というビジョンに共感して頂き、共に行動を起こす起点とすることを目的とします。

(事業内容)

■TRY・4・VISION “若者と地域のつながり” 事業の企画・実施

(事業)

若者と地域をつなげるきっかけ作りの構築に取り組みます。

委員長 氏名: 大谷 翼・井上 詠貴

Ver.07

ビジョナリー・会員拡大委員会

忘年会の企画・実施

(現状と方向性)

飯塚 JC は、地域社会において重要な役割を果たしており、これまで多くのメンバーが飯塚 JC へ参画し、様々な活動を通じて成長してきました。特に、卒業生の存在は飯塚 JC の歴史と伝統を支える重要な要素であり、卒業生の経験や知識は現役メンバーにとって貴重な財産です。

今年度は 11 名の卒業生が新たなステージへと進むことが予定されており、卒業生の卒業を祝福するとともに、これまでの貢献と日頃の感謝を存分に表現する機会になります。卒業生とのつながりを深めることは、現役メンバーにとっても大きな学びの場となり、JC の活動と運動の価値を再認識する重要な機会となります。

式典の部に関しては、バッジ交換式・プレジデンシャルリース伝達式などを厳正厳粛に執り行いつつ、懇親の部については、卒業生の方々が、心から飯塚JCに加入してよかった、長年飯塚JCの仲間たちと過ごしてよかったと思えるような新しいアイデアも取り入れていきます。卒業生の方々からたくさんの楽しそうな笑顔、たくさんの感動、たくさんのワクワクが生まれる忘年会を創り上げていきます。そして、その姿を見て、現役メンバーも卒業生から様々の刺激をもらい、仲間と共に「未来」につながる忘年会にしていきます。

(目的)

対内(卒業生)

(式典の部)

■式典を厳正厳粛に執り行っている姿勢や勇姿を現役メンバー・アカデミーメンバーへ伝承して頂くこと。

(懇親の部)

■飯塚 JC でこれまで数多くの事業や活動を通して感じた様々な想いを振り返って頂き、その想いを現役メンバーに伝えて頂き、新たな道へと邁進して頂くこと。

対内(現役メンバー):

(式典の部)

■式典を厳正厳粛に執り行い、また卒業生の勇姿を見て、肌で感じ、今後の飯塚 JC に伝承させていくこと。

(懇親の部)

■感謝と敬意を表したうえで卒業生を送り出し、卒業生が様々な感情に出会える会にすること。そして卒業生の想いを感じ、経験知を学ぶことで、今後の JC 活動、運動はもちろん自分自身の「未来」につなげていくこと。

(事業内容)

■2025 年度の忘年会を企画・実施します。 (事業)

1) 仲間と共に楽しみ、感動し、ワクワクできる忘年会の企画・実施

2) 仲間と共に「未来」につながる忘年会の企画・実施

3) 仲間と共に 1 年を振り返り、表彰し、次年度につなげる忘年会の企画・実施

年間事業フレーム

一般社団法人飯塚青年会議所

委員会 ビジナリー委員会

委員長 大谷 翼

全
国
大
会
（
福
岡
）

世
界
会
議
（
台
湾
）

京
都
会
議
（
京
都
）

A
S
P
A
C
（
モ
ン
ゴ
ル
）

サ
マ
リ
（
）

全
国
大
会
（
佐
賀
）

世
界
会
議
（
チ
ュ
ニ
ジ
ア
）

| 運動・事業名 | 9月 | | | | 10月 | | | | 11月 | | | | 12月 | | | | 1月 | | | | 2月 | | | | 3月 | | | | 4月 | | | | 5月 | | | | 6月 | | | | 7月 | | | | 8月 | | | | 9月 | | | | 10月 | | | | 11月 | | | | 12月 | | | |
|--------------------------------------|--------------------------|---|---|---|------------|---|---|---|-------------------------------|---|---|---|---------|---|---|---|------------|---|---|---|---------------------|---|---|---|------------|---|---|---|------------|---|---|---|-------|---|---|---|------------|---|---|---|----|---|---|---|------|---|---|---|----|---|---|---|-----|---|---|---|-----|---|---|---|-----|---|---|---|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| TRY・4・VISION”若者と地域のつながり” 事業の企画・実施 | 引継ぎ | | | | 調査・研究 | | | | 企画立案 | | | | | | | | 事業計画 討議 | | | | 事業計画 協議 | | | | 事業計画 協議 | | | | 事業計画 審議 | | | | 準備・広報 | | | | 事業実施 | | | | 検証 | | | | 事業報告 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ビジナリーシティ 会議引継ぎ | | | | ビジナリーシティ会議 | | | | | | | | | | | | | | | | ビジナリーシティ 会議引継ぎ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アカデミーメンバーの育成 | 引継ぎ・資料作成 | | | | | | | | 委員会オリエンテーション（毎月1週目もしくは2週目に開催） | | | | | | | | | | | | | | | | 引継ぎ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 忘年会の企画・実施 | | | | | 引継ぎ | | | | 調査研究 | | | | 動画等素材収集 | | | | 場所の 確保 | | | | 事業計画 協議 | | | | 事業計画 審議 | | | | 準備期間 | | | | 事業実施 | | | | 検証 事業報告 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 飯塚JC全体で取り組む会員拡大 | 拡大意識醸成のための会員同士の魅力の発信及び共有 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 飯塚JC全体で取り組む山笠運営 | 山笠担当者との連絡調整・会議等への協力 | | | | | | | | | | | | | | | | 本番 | | | | 山笠担当者との連絡調整・会議等への協力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |